

入園して2ヶ月が過ぎようとしています。気温差や疲れから体調を崩す子どもが多かったですが、園の生活にも慣れて笑顔が増えてきた子どもたちを見ていると嬉しく感じます。

5月は園の環境に慣れて探索活動を楽しむ子どもや、たくさん泣いてゆっくりと安心できる場所や保育者を見つけた子どもなど、それぞれのペースで過ごしました。最近では、特定の保育者に甘えたり抱っこを求めたりする姿が増えてきました。一人ひとりの思いを受け止めながら、ゆったりとした関わりの中で1対1の時間を大切にしていきたいと思います。

梅雨の時期となりましたが、あり組の子どもたちは身体を動かすことが好きなので、様々なマットを用意して元気に遊んだり、雨上がりの散歩に出かけて梅雨の自然に触れたりしながら楽しく過ごしていきたいと思います。



少し前につかまり立ちができるようになったAくん。
つかまり立ちができると、手を離してグラグラしながらも自分で拍手をして喜んでいます。
子どもたちの成長を共に喜び、見守っていききたいと思います。

ひよこ組になり、2ヶ月が経ちました。園生活に慣れ、笑顔で過ごす時間が増えた子どもたちは、好きな遊びを見つけて遊んだり、保育者と一緒に歌や手遊び・体操をしたりと楽しく過ごしています。

生活面では、自分のマークがわかり、靴や帽子の出し入れをしたり、ズボンを脱いだり、身の回りのことを自分でしようとする姿が見られるようになってきました。できた時には、「できた！」と笑顔で拍手をして喜びを表現している姿がとてもかわいいです。これからも、嬉しい気持ちに共感し、「やってみよう」と思う意欲を大切に励まし、援助していきたいと思います。そのため、自分で着脱しやすい衣服や靴をご用意していただきますようよろしくお願いいたします。

今月は、七夕飾りを作ります。絵の具で指スタンプを楽しみスイカの飾りを作ったり、花紙を丸めて袋に入れて織姫・彦星の飾りを作ったりします。子どもたちの素敵な飾りを楽しみにしててくださいね。



アリやダンゴムシに興味津々の子どもたち。バケツやコップを片手に、「アリさーん、いた！！」「みてみてー！」
「ダンゴウシ(ダンゴムシ)、ないねー」と、小さな生き物の発見に目を輝かせたり、見つけれなくて泣いたり、一喜一憂する姿がとてもかわいらしいです。

梅雨の季節が始まろうとしています。子どもたちに天気を聞いてみると「ぴかぴかたいよう！」や「あめだね」など元気に教えてくれます。

園庭では少し高い木を見つけ「のぼってみる！」と登ろうとしたり、苦手な食べ物を「がんばる！」と少しずつ食べてみようとしたり、様々なことを「やってみよう」とする姿が見られるようになりました。これからも子どもたちの意欲や挑戦する気持ちを大切に、喜びや自信に繋がるように援助していきたいと思います。

今月は七夕飾りを作ります。スタンプで織姫と彦星の服に模様をつけたり、丸や三角の折り紙をのりで繋げて飾りを作ったりします。りす組になり初めてののりを使う経験をしますが、のりの感触やくっつく面白さ楽しさを十分に味わっていききたいと思います。



午睡が終わり元気に起きるAくん。
ベッドの側に駆け寄り、「みんなおきるのよ〜」と大きな声でみんなを起こしていました。

小さな保育者のAくんがとても可愛らしかったです。